

雁蕩山成因

沈括

温州雁蕩山、天下奇秀。然自古凶牒未嘗有言者。謝靈運為永嘉守、凡永嘉山水遊歴殆遍、獨不言此山。蓋當時未有雁蕩之名。

予觀雁蕩諸峰、皆峭拔嶮怪、上聳千尺。穹

崖巨谷、不類他山、皆包在諸谷中。自嶺外望

之、都無所見。至谷中、則森然干霄。原其理、當

是為谷中大水衝激、沙土尽去、唯巨石巋然

挺立耳。如大小竜湫、水簾、初月谷之類、皆是

水鑿之穴。自下望之、則高岩峭壁。從上觀之

適与地平、以至諸峰之頂、亦低於山頂之地

面。世間溝壑、中水鑿之處、皆有植土龕巖、亦

此類耳。今成臯、陝西大澗中、立土動及百尺、

迴然聳立。亦雁蕩具微者、但此土彼石

耳。

既非挺出地上、則為深谷林莽所蔽。故古人未見。靈運所不至、理不足怪也。

(夢溪筆談)

- 1 温州 今の浙江省温州市。
- 2 凶牒 地図と書籍。
- 3 謝靈運 三五一四三。南北朝の宋の詩人。
- 4 永嘉守 永嘉郡（今の浙江省温州市）の長官。

- 5 峭拔嶮怪 高く抜きん出て険しいさま。
- 6 千尺 きわめて高いことをいう。
- 7 穹崖 高い崖。

- 1 「都無所見」のは、なぜか。
- 8 森然 多く並び立つさま。
- 9 干霄 空にまでとどくほど高くそびえ立つさま。
- 10 巋然 高く大きいさま。
- 11 挺立 高く抜きん出て立つ。

- 12 水鑿 水流によってうがたれる。

- 2 「適与地平」とは、どういうことか。
- 13 溝壑 谷間。
- 14 植土 真つ直ぐに立つた土の柱。
- 15 龕巖 くぼんだ岩。
- 16 成臯 今の河南省滎陽市。

- 17 迴然 抜きん出ているさま。
- 3 「具微而微」とは、どういうことか。

- 18 林莽 密林。

*未_レ見。 (否定) まだくない。
 *獨_レ言。 (限定) ただくだけだ。
 *不_レ言。 (否定) くない。
 *唯_レ耳。 (限定) ただくだけだ。
 *於_レ於。 (比較) ーよりも。
 *非_レ於。 (否定) ーではない。

学習の手引き

各段落の要旨をまとめ、それぞれがどのようにつながっているかを説明してみよう。

雁蕩山の特徴を整理しよう。

雁蕩山はどのようにしてできたと筆者は考えているか、あげられた根拠をふまえて説明してみよう。

「故古人未見。」(15行)について、その理由を筆者の考えに即して説明してみよう。



雁蕩山 (Glasreifen, CC BY-SA 4.0 <<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>>, via Wikimedia Commons)

雁蕩山成因

沈括

温州雁蕩山、天下奇秀。然自古凶牒、未嘗有言者。謝靈運為永嘉守、凡永嘉山水、遊歷殆遍、獨不言此山、蓋當時未有雁蕩之名。

予觀雁蕩諸峰、皆峭拔嶮怪、上聳千尺。穹崖巨谷、不類他山、皆包在諸谷中。自嶺外望之、都無所見。至谷中則森然干霄。原其理、當是為谷中大水衝激、沙土尽去、唯巨石巋然挺立耳。如大小竈湫、水簾、初月谷之類、皆是水鑿之穴。自下望之則高岩峭壁。從上觀之適与地平、以至諸峰之頂、亦低於山頂之地面。世間溝壑中水鑿之處、皆有植土龕巖、亦此類耳。今成臯、陝西大澗中、立土動及百尺、迴然聳立。亦雁蕩具體而微者、但此土彼石耳。

既非挺出地上、則為深谷林莽所蔽。故古人未見。靈運所不至、理不足怪也。

(夢溪筆談)

学習の手引き

各段落の要旨をまとめ、それぞれがどのようにつながっているかを説明してみよう。

雁蕩山の特徴を整理しよう。

雁蕩山はどのようにしてできたと筆者は考えているか、あげられた根拠をふまえて説明してみよう。

「故古人未見。」(15行)について、その理由を筆者の考えに即して説明してみよう。



雁蕩山 (Glasreifen, CC BY-SA 4.0 <<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>>, via Wikimedia Commons)

- 1 温州 今の浙江省温州市。
- 2 凶牒 地図と書籍。
- 3 謝靈運 三五一四三。南北朝の宋の詩人。
- 4 永嘉守 永嘉郡(今の浙江省温州市)の長官。

- 5 峭拔嶮怪 高く抜きん出て険しいさま。
- 6 千尺 きわめて高いことをいう。
- 7 穹崖 高い崖。

- 1 「都無所見」のは、なぜか。
- 8 森然 多く並び立つさま。

- 9 干霄 空にまでとどくほど高くそびえ立つさま。
- 10 巋然 高く大きいさま。

- 11 挺立 高く抜きん出て立つ。

- 12 水鑿 水流によってうがたれる。

- 2 「適与地平」とは、どういうことか。

- 13 溝壑 谷間。

- 14 植土 真つ直ぐに立った土の柱。

- 15 龕巖 くぼんだ岩。

- 16 成臯 今の河南省滎陽市。

- 17 迴然 抜きん出ているさま。
- 3 「具體而微」とは、どういうことか。

- 18 林莽 密林。

- *未_レだ_レ。 (否定) まだくない。
- *独_レだ_レ。 (限定) ただよかった。
- *不_レ。 (否定) ない。
- *唯_レ耳。 (限定) ただよかった。
- *於_レ。 (比較) よりも。
- *非_レ。 (否定) ではない。

資料A

◆ 趙抃 「出雁蕩回望常雲峰」

游¹遍²名山未肯休³
 征車已発尚回眸⁴
 高峰亦似多情思¹
 百里依然一探頭⁴

- 1 常雲峰 雁蕩山の高峰の一つ。
- 2 征車 旅で乗る車。
- 3 回眸 振り返って見る。
- 4 探頭 (様子をうかがうため)頭を前へ突き出す。

趙抃

一〇〇八年―一〇八四年。字は閑道。北宋の政治家。

【出典】『清献集』巻五

活動の手引き

生徒A…雁蕩山ってこの教材で初めて知ったけど、とても変わった形をした山なんだね。紙面に載っている写真もおもしろい。

生徒B…そうだね。実はこの山のことが気になってインターネットで調べてみたんだけど、どうやらユネスコの世界ジオパークというのに認定されているみたい。ジオパークって何だろう。

教師…ジオパークというのは、地球科学的に価値のある地形や地質、自然景観などを、自然学習の場や観光資源として保存・活用することを目的とした公園のことだよ。「地球・大地」を意味するジオ(Geo)と、「公園」を意味するパーク(Park)とを組み合わせた言葉なんだ。

生徒B…なるほど。インターネットには雁蕩山の観光案内サイトもたくさん出ていましたけど、そういった背景があるんですね。

生徒C…雁蕩山が世界ジオパークに認定されたのは、やはりそれだけ貴重な地質をもっているからなんだろうね。

教師…もちろんそれもあるけど、昔から多くの文学作品に取り上げられてきたという文化的な側面も重要だ

資料B

◆ 『古今和歌集』
 題知らず

人知れぬ思ひをつねに駿河なる¹
 富士の山こそわが身なりけれ

よみ人知らず

(巻十一 恋歌一)

1 駿河 今の静岡県の一部。

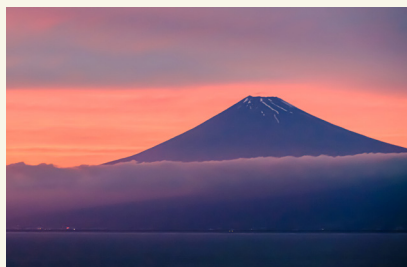
古今和歌集

最初の勅撰和歌集。

九〇五年(延喜五)ごろに成立。

【撰者】紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑

【出典】『新編日本古典文学全集』



ね。たとえば【資料A】に示したのは、北宋の趙抃という人が詠んだ漢詩だよ。

生徒A…三句目に「情思」という言葉がありますけど、何か作者の思いを述べた作品なんでしょうか。

教師…そのとおり。雁蕩山を見て回った作者が、その時抱いた思いをうたっているんだ。このように、さまざまな文学作品に取り上げられてきた山というのは中国には他にもいくつかあるけど、日本だったらどういうものか思い当たるかな。

生徒C…富士山とかでしょうか。

教師…そうだね。たとえば【資料B】は、富士山を詠み込んだ和歌だよ。これも作者の思いをうたった作品だから、【資料A】の漢詩と読み比べてみるとおもしろいと思うよ。

(参考) ユネスコ世界ジオパーク―雁蕩山―
<http://www.globalgeopark.org/GeoparkMap/geoparks/China/12502.htm>



【資料A】と【資料B】を比較して、作者の抱く思いの身と、それを山に託した表現の違いを指摘してみよう。